

和光会会報No. 46

－三菱電サービス（菱サ）～三菱電機ビルテクノサービス（MELTEC）本社OB会－

◆ 第14回総会開催

第14回和光会総会が6月18日（土）15：00から町屋システムプラザB館8階大会議室において69名の会員が出席され盛大に開催されました。

総会は、定刻の15：00に布施幹事により開会が宣言され同幹事の総合司会により進行されました。最初に、幹事を代表して金井幹事より、開会挨拶がありました。要旨は次の通り。



本日はお忙しい中、第14回和光会総会にご出席いただきありがとうございます。ございました。

3月に開催されました幹事会で挨拶は若手がということになりまして、僭越ですが一言ご挨拶させていただきます。

幹事会の後に久しぶりに日本ビルを訪ねてみました。ビルは閉鎖され取り壊しのお知らせが張られていました。今頃はアスベストの撤去がなされているようです。

ビルを見上げていますと、平成15年に3階の会議室で和光会設立の幹事会を開いていたことを昨日のように思い出しました。このビルも来年3月には取り壊されてしまうかと思うと寂しい限りです。

今日はそんな日本ビルでの出来事を思い出しながら、気持ちだけでも若返っていただけたらと思います。

幹事代表挨拶・金井幹事

最後に、お忙しい中おいでいただいた伊藤常務、いつも和光会の活動にご尽力いただいている人事部の大えきさんとメルテックビジネスの方々に御礼申し上げます。そしていつまでも年の差が変わらない幹事の仲間たちに感謝し挨拶とします。本日はありがとうございます。

続いて総会議案の審議に入り、事務局の寺門幹事より、配布資料に基づいて下記の報告がありました。

- ① 第13期事業報告（当日配布資料）
- ② 第13期会計報告（当日配布資料）

それに基づき、佐藤監事より

- ③ 第13期会計監査報告があり、それぞれ、拍手を持って承認されました。

今年は幹事の改選期ではありませんが、新幹事の推薦があり、下記の方が拍手を持って承認されました。

・渡辺美樹子さん

これで幹事は総計15名となりました。

次に寺門幹事から第14期事業計画（配布資料参照）が配布資料の通り提案され、多数の拍手を持って承認されました。

最後に次のようなお知らせあり。

- ①カレンダーの追加・手帳の頒布についての申し込み方法の説明
（すでに6/30に申し込みは締め切りました。）
- ②MTB和光会の連絡・問い合わせ窓口の確認

続いて布施幹事の司会により懇親会へ！

はじめに会社を代表して常務取締役伊藤本部長より来賓ご挨拶がありました。ご挨拶要旨は下記の通り。



監査報告・佐藤監事

ご無沙汰しております。ファシリティ事業本部の伊藤です。私が若いころから育てて頂いた諸先輩の前でご挨拶ということで、僭越ではございますが大変光栄に存じます。昨年、東京支社から転勤となり本社二年目となりましたが、初めて参加させていただきますのでどうか宜しくお願い致します。

当社も今年で63期を迎え新たに吉川専務が社長に就任されました。今年の新入社員378名が加わり、社員数も9,234名・280か所を超える事業所として、三菱冠称会社として立派な会社に成長することができました。これも、ひとえに本日よりご列席の諸先輩方皆様のおかげかと存じます。

一方、社会の企業に対する目が厳しさを増す中、当社としても安全・品質活動を最優先に取り組んでおり、このことを通じて社会・お客様からの信頼を獲得することを経営の基本に置いております。また「人と技術の会社」として「人づくり」に力点を置いた投資を行い、持続的な成長の実現を目指しております。



来賓ご挨拶 常務取締役 伊藤本部長

1. 当社の業績について

昨年度(2015年度)は受注高約3,300億円、完成工事高約3,200億円を計上することができました。利益につきましても、ここ数年減益でしたが増益を図ることができました。昇降機は成長事業であるモダニが伸びていますが、種まきである昇降機新設販売はシェアを落とす厳しい結果でした。私が担当するファシリティは得意とする空冷・システム事業にウエイトをシフトしながら、過去最高の利益を上げることができました。引き続き成長エンジンとしての将来性のある事業を推進してまいります。

2. トピックス

①熊本地震

4月14以降に発生しました震度6~7の強い地震によって、特に熊本県内全域において甚大な被害が発生しました。当社は速やかに対策本部を設置し、社員の安否確認から復旧活動に全力で取り組んでおります。幸い当社社員・関係会社社員とその家族は全員無事が確認されましたが、約600台の物損の復旧は長期戦となっており、九州支社と延べ2,700人を超える応援者で対応しております。

②新CM

島根県の365日休まない「足立美術館」を舞台に当社のCMが流れています。温度18度湿度55%を保つ社会を支えるメンテナンスとして空調機保守をPRしています。

③世界最高速

世界最高速「1,230m/min」の三菱エレベーターが今年7月をめどに中国上海の「上海中心大廈」というビルで稼働しますが、当社もプロジェクトを組んで調整段階から参画しております。

④組織再編

16年4月より「東関東支社」及び「東京支社」を再編し、新たに「首都圏第一支社」を「システムプラザB館」に、また「首都圏第二支社」を「新宿アイランドタワー」にそれぞれ設置しました。

以上ですが、せっかくの機会なので是非ご参加の皆さんと共に時間の許す限り、色々とお話したいと思えます。宜しくお願い致します。本日はお招きありがとうございました。

続いて加藤正明さんの乾杯の音頭で懇親に移りました。

夫々の方の思い出等、懐かしい顔や、思いがけない人との懇談に花が咲きました。

本年度新入会員3名の方のご紹介があり、出席された小出周三さんのご挨拶がありました。

16:15頃から恒例となりましたビンゴゲームが土屋幹事の進行により賑やかに行われました。今年も各本部より寄贈されたノベルティグッズの賞品（ゴルフ関係のものをはじめ、クオカード、図書券、牛革製ブックカバー等々……）をめざして。

ビンゴは全数やらず30名とし、残りの方は残ったものの中から希望したものを選んで頂きました。

これも恒例となりました『みんなで歌いましょう』のコーナーでは、地頭所幹事の指揮のもと、今回初めて前に女性2名の方に出いただき「ふるさと」「365日の紙飛行機」を全員で合唱しました。

朝ドラをご覧の方は「365日の紙飛行機」を毎朝テレビで流れる音は聞いていたと思いますが、フルバージョンで4分45秒程と長く難しいようでした。

最後に原田幹事の一本メで 閉会となりました。

その後C館81・82会議室で全員での記念写真の撮影があり、散会となりました。



乾杯ご発声・加藤正明氏



懇親風景



みんなで歌いましょう

ビンゴゲーム大会



全員で記念撮影

今年も8階ロビーに会員の作品展示コーナーが設けられ、10名の会員の方から作品の出展がありました。今回新たに小松正泰さんが開発されたパソコンソフトの紹介がありました。このソフトは和光会会報No.32で小松正泰さんから紹介のありました川崎市地域活動支援センター「窓の会」が行う施設の運営事務の簡素化・省力化・効率化・精度アップ・記録データ保存・活用の容易化等を具現化したもので、「障がい者施設用 通所交通費等管理ソフト」としてプロジェクターで紹介。

久しぶりに磯田昇さんの「新聞記事」、鈴木誠さん〔折り紙〕の展示もありました。

また、今年もパワーポイントを使って MELTEC の過去と現況をスライドショーで紹介があり、この DVD をビンゴゲーム大会の賞品にしました。

これら素晴らしい作品（版画、水彩画、竹細工、書道、陶器等）を出展して頂いた方々に深く感謝いたします共にお礼申し上げます。

展示会は来年以降も継続を予定しておりますが、種々な趣味をお持ちの会員も多いと思いますので、作品の出来栄をあまり気にせず、出展していただきたいと思います。

なお、今回展示された作品の紹介は次号以降順次ご紹介をしていく予定です。

趣味の展示コーナー 出展者と作品（敬称略、順不同）

No	氏名	作品のジャンル	作品名	大きさ・様式
1	金山 幸雄	陶芸	備前焼「布目紋様花入れ」	30×30×20
			備前焼「樹木型香炉」	30×30×20
			半磁「龍紋様片口酒器セット」	30×30×20
			黒泥「龍紋様ピアマグ」	30×30×20
			半磁「龍紋様ピアマグ」	30×30×20
			半磁「絵皿(白雪姫)」	30×30×20
2	樋口 義三	水彩画(アクリル)	加賀美湖池に映る金閣寺	74×56
3	布施 昌義	日本画	白山平泉寺参道・福井県勝山市	F10号(70×60)
4	小松 正泰	パソコンソフト	障がい者施設用 通所交通費等管理ソフト	エクセル
5	笠井 宗男	油絵	萌える箱根路	F30号
			湿原の秋	F10号
		書道 条幅	「送友人」李白の詩（五言絶句）	180×45
6	東山 孝幸	水彩画	生簀小屋のある風景	40号(縦 100cm)
			サイロのある風景(成田夢牧場)	20号(横 90cm)
			日本丸	10号(縦 50cm)
7	磯田 昇	新聞記事	いじめは子供だけの世界ではない	東日新聞2014年 9月3日(水)
			静かに進む国際化	東日新聞2013年 7月7日(日)
8	和田 昭喜	写真	海の貴婦人	半切(40×50)
		工芸品 (漆塗製品)	へら鮎竿(蒔絵)	
			ポールペン	
9	小藤 俊雄	木彫刻	弥勒菩薩半跏像(広隆寺)(桧)	50×15×30
			レリーフ・伎芸天(桧)	50×15×30
10	鈴木 誠	折り紙	たかが折り紙 されど折り紙	



展示コーナー

◆ 月の引力を感じる場所

…… (2016-06) —山本 拓弘 (馬骨) さんから投稿頂きました—

4年ほど前に、1カ月ほどかけて九州を一回りした旅での話です。

地図で見ると佐賀県の最南端の町となるのでしょうか、有明海に面した太良町という所があります。ここにある道の駅：太良に一泊しました。有明海に面したこの町は、海の幸と山(陸)の幸に恵まれた、暮らしの豊かな場所です。この町の竹崎という地区は、竹崎ガニと呼ばれるワタリガニが獲れることで有名です。過去に7年ほど福岡に住んだことがあるのに、そのカニを一度も食べたことが無いのは、痛恨の極みのように思うのですが、超高価なので、諦めざるを得なかったというのが本音なのです。カニだけではなく、有明の海その干潟では、名物愛嬌者のムツゴロウ君にもお目にかかれますし、又陸の方では、ミカンなどの果物類を初め、野菜類や米の栽培も盛んに行われているようで、そのことは道の駅に並べられた地産物の種類の豊富さからも推し測ることができます。

この道の駅には、「地球の引力を感じる場所」という、妙なキャッチコピーが掲出されていました。地球の引力を感じずというのとは、どういうことなのでしょうかと思いました。ニュートンはリンゴが木から落ちるのを見て、万有引力の法則に気付いたとのことですが、我々凡人には、空を飛ぶ飛行機が墜落するのを見ても、引力がどう働いているのかなどに気づくわけもなく、ただあんな重いものが空を飛ぶなんて、何かの間違ひではなかろうかとふと思ったりするだけです。

この道の駅に泊まって、朝を迎えたのですが、昨日家内が聞いてきた情報では、駅の売店で11時ごろからカニ飯の弁当が売り出されるとのこと。彼女はカニには目のない人なので、どうしてもそれを手に入れたという強い要請がありました。急ぎの旅でもないのに、まあ、それも良かろうと販売開始の時を待ったのでした。道の駅に車で泊まる旅人の多くは、遅くとも10時くらいまでには次の目的地に向かって出発して行くのですが、自分たちはまるでカニ弁当という餌につられて、出発するのを忘れたアウトサイダーの様な気がしました。

販売開始の時刻が来るまでの間、いつものように出発前の車の点検やトイレの処理などをしていて、それが終わってふと気が付くと、家内がどこに行ったのか見当たらず戻って来ません。10時を過ぎても所在不明の状態でした。まさかいくらなんでも、一刻でも早く弁当を手に入れたいと、今から店先に並んでいるほど強欲でもあるまいと思いつつ、店の方へ行って見たのですが、見当たりません。ま、いいかと駅舎の裏の方(=海に面した側)に行ってみたら、そこに海を眺めている家内を発見したのでした。

有明海は遠浅の箇所が多いのですが、この辺りもかなり沖の方まで遠浅の海が続いていて、丁度今の時刻は、遠く引いていた潮が少しずつ勢いを増して岸の方へ押し寄せてくるころなのでした。それを飽きもせずずっと見続けていたとのこと。つまり月の引力とやらを感じていたというわけなのでした。

有明海のこの地では、潮の干満の高低差が数メートルにも及ぶとか。なるほど、この落差を実感することがすなわち月の引力を感じるということなのか、と思いました。つられて見ていると、確かに押し寄せる波

の動きで、何かが起こっているのを実感できるのです。沖から押し寄せる波は、最初はさざ波だったものが、少しずつ勢いを増し、その強さを膨らませているのが判ります。この波の動きは、つい先ほどから始まったらしく、泥の中に顔を出して遊んでいた、ちびっこのムツゴロウ君たちの動きも少し活発となり出したようでした。干潟に立てられた腐食の進んだ棒杭の脇にも、押し寄せる波の大きさが少しずつ実感できるようになり出していました。

引力を実感するためには、動き回らずにじっと一箇所に留まって海を見つめていた方が良いでしょう。引力というのは沖の方から強まる様な気がしました。沖の方の海が盛り上がり、それが波をつくり出して浜辺に向かって押し寄せてくる感じがしたのです。海を引っ張る力とそれを緩めるタイミングが波をつくり出しているように思えました。それにしても、この力の大きさはものすごいなとも思いました。昨年の東北沿岸の大津波の映像を思い起こしながら、改めて大自然のパワーの巨大さに打たれたのですが、この何でもなさそうな有明の海の変化にも、秘められている大自然の恐るべきパワーを実感せずには居られませんでした。



初め、沖の方に盛り上がった波（左方）は、やがて砕けた波となって岸边に押し寄せる。その繰り返しの中にいつの間にか潮が満たされてくるのである。

それにしても人間というのは鈍感な存在だなと思いました。月の引力というのは、何も海にだけ作用しているわけではなく、地球に住み、存在する全てのものに同じように働いているはずなのに、普段はちっとも感じてはいないのです。辛うじてこのような海の変化を見て引力を実感しているだけなのです。それに比べ、浜辺のムツゴロウ君たちは、人間とは違って毎日僅かな変化であっても、この引力の働きを敏感に実感しているに違いありません。生きものとしての、この違いは何なのか。もし、この鈍感さというものが、人間の思い上がりから来ているとしたら、それは怖いことだなと思いました。

ところで、改めて引力というのは何なのでしょう。広辞苑などを引くと、難しげなことが書かれています。万有引力だけではなく、様々な引力の形があるらしく、今では宇宙規模から素粒子の世界まで、引力の存在が判明しているとのこと。しかし、何故このようにあらゆる物体、物質に引力が働くのでしょうか。逆に考えると、引力がなければ物体や物質はその存在を確保できないものなのでしょうか。創造主が何故引力などという働きを全ての物体や物質に持たせたのか、不思議というほかありません。

ふと思ったのですが、何も物理の世界だけとは限らず、人間の心の世界にも引力というのは明らかに存在するのではないか、と。その最も典型的なものは、男と女の引かれ合い（＝惹かれ合い）なのかも知れません。又、友情などということばで括られている人と人との付き合いも、心の世界の引力の働きによるものなのかもしれません。更には、東日本大震災で確認された「絆」という人と人との結びつきも、心の引力の働き以外の何物でもないのではないか、と思ったのです。この世には、どうやら引かれ合うという働きが不可欠なような気がします。

海を見ている家内から少し離れた場所で、しばらく動かずに自分も月の引力を感じ見ながら、引力に縛られ(?)てなのか、もう40数年も一緒に此処まで同じような人生を歩んできた家内との縁を不思議に思ったのでした。
(2012年九州の旅から)

◆ 新入会員紹介

第13回総会后入会された方は下記の方々3名で、第14回総会にてご紹介しましたが、当日欠席された方もおられましたので改めてご紹介いたします。

小出 周三さん



今年の3月末で会社生活を卒業したばかりで、ホッとしている毎日です。日々の生活は、だらし無くならないように心掛けていて、お任せだった家事を少々お手伝い。週3、4日はスポーツクラブ、毎週末はホームコースでゴルフ、時々東京ガスの料理教室、早朝・深夜は投資研究と読書、そして社内外の仲間との飲食や麻雀です。海外旅行も夫婦、仲間とも行っていますが、岡山の母の見舞いも欠かさないよう努めています。長年の夢の歴史探訪の旅へも行きたいです。家内から、社会にお役に立ったらと助言をもらい、7月から江東区の行政政策へのモニターを務めます。また知人の会社の経営アドバイザーも引き受けることとしました。第二の人生を夫婦で元気に過ごしたいと思っています。
先輩方からアドバイスがあれば、宜しくお願いします。

筑前 賢一 さん



昭和56年入社筑前 賢一(チクゼン ケンイチ)です。入社以来、ほとんどの期間を町屋・システムプラザ(情シ・監査)で勤務してまいりましたが、平成28年4月1日付けでメルテック・ビジネス(株)に転籍、和光会に入会させて頂きました。転籍後の現在もシステムプラザに通勤しておりますが、一年生として新しい職務をただいま猛勉強中です。又、セカンドライフについてもやっとこれから検討という状況で、余暇の過ごし方等含め生活設計をじっくり考えていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

森野 渉さん



2016年3月に定年を向え、現在は千葉支店でモダニ施工関係の仕事をしております昭和51年入社の森野です。

和光会に入会させていただき、諸先輩の皆様のお話を聞きながら第二の人生のプランを膨らましていきたいと考えていますので、現役の時と同様に可愛がっていただければ幸いです。写真は3年前に購入した柿の木で、今年は7つの実がなりました。

◆ 訃報ご報告

下記の方がご逝去されました。改めてここに哀悼の意を表し、謹んでご報告申し上げます。

盛田 友明氏（2016年5月17日ご逝去）（享年78）

なお、故盛田 友明氏は1961年（昭和34年）4月に入社され、本社総務部 総務課、仙台支店・札幌支店 総務、本社人事部 安全衛生課長、本社総生 総務 GL、健康保険組合常務理事などを歴任され、1990年（平成2年）3月定年退職されるまで、主に総務部門で活躍されました。

鈴木 毅氏（2016年7月2日ご逝去）（享年74）

なお、故鈴木 毅氏は1964年（昭和39年）4月に入社され、本社総務部 総務課・勤労課、人事部 教育センター、北陸支社 総務課長、中部支社 総務部副部長・部長を経て、菱サB/W 取締役総務部部長、MTB取締役総務部部長を歴任され、2004年（平成12年3月）定年退職されるまで、主に総務部門で活躍されました。

◆ MELTEC 情報

○ 2016年4月1日現在 MELTEC データ（社員数・事業所以外は2016年3月31日現在）

- ① 社員数：9,234名（役員、出向(受)を除く）
- ② 事業所数：280ヶ所
- ③ 商品別契約台数・件数
 - ・昇降機保守契約台数：246.9千台
 - ・冷熱保守契約台数：420千台
 - ・遠隔管理サービス(メルセントリー)件数：18.8件
 - ・ビル設備保守件数：30千件

◆ 事務局より

- ・ 第14回目の総会も大変盛り上がり、無事終了いたしました。今回もいつものように各事業本部よりノベルティグッズをご提供くださいました。
- ・ 和光会会報No.34より「くるま旅くらし心得帖」の山本拓弘氏よりくるま旅について投稿いただいておりますが、今回も投稿いただきました。今年も、東北の春の旅を先月無事済ませたようです。なお、山本拓弘氏の「くるま旅くらし」の最近の様子は下記ブログに載っておりますので是非ご覧ください。「山本馬骨」で検索しても可能です。

<http://blog.goo.ne.jp/vacotsu8855>

・ 和光会の連絡・問い合わせ窓口について

第6期より会社（人事部）が和光会を全面的に支援して下さることになり、OB会事務作業（会員との連絡・通知、1194・カレンダーの送付等）を人事部の委託によりMTBにお手伝いいただき、MTBの担当は総務・人事支援部（部長：志摩 正樹）で変わりありませんが、第13期より連絡・問い合わせ窓口は下記のとおり変更になりました。

担当：木村 律子BD、佐々木 敏行、野原 菜穂

電話：03-3803-8865（代表）

FAX：03-3803-8875

E-mail：meltec-OB-wakokai@mtb.ssg.meltec.co.jp

・ 住所変更等通常の連絡・問い合わせはMTBの上記和光会担当か、和光会事務局（寺門）で済むと思いますが、会社の人事部の窓口は年金・基金を担当している方で次の通りです。

担当：大塚 勝則 SK

電話：03-5810-5392（ダイヤルイン）

FAX：03-5810-5501

E-mail：oheki.katsunori@meltec.co.jp

・ 2016年度会費納入対象の方は2004年、2007年、2010年、2013年および2014年に入会された方々になります。対象者宛に先回「1194」「和光会会報」送付時振込用紙を同封いたしました。手違いによりカレンダー・手帳の追加申し込み用の振込用紙を送付し、ご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございません。会費「4,000円（2年分）」の振り込みが未だの方には改めて振込用紙を送付いたしますので次の口座宛振り込み賜りたくよろしくお願い申し上げます。

会費振込先：ゆうちょ銀行

[記号] 00100-7

[番号] 650896

[加入者名] 和光会

・ E-MAIL 会員各位へは INFORMATION をお送りしておりますが、最近不達が増えておりますので、**メールアドレスの変更時は速やかにご連絡**をお願いいたします。

・ 「和光会会報」・「1194」・カレンダーなどを会員宛送付しておりますが、宛所不在で戻ってくる場合がありますので、**転居・住所表示変更等の場合は速やかにご連絡**をお願いいたします。

・ パソコンのある方は、会報や総会写真を下記和光会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.geocities.co.jp/Milkyway-Kaigan/5992/>

皆様の日頃の活動やグループ活動などのお便り・投稿をよろしくお願い申し上げます。

22016-7-15 和光会事務局 寺門 三男
029-872-4122 mitsuotera@jcom.home.ne.jp